

Power Platform ライセンス ガイド

2024 年 8 月

目次

目次	2
購入方法.....	4
マイクロソフト ライセンス プログラム.....	4
製品ライセンス	4
推奨オファー.....	5
その他のオプション	9
Power Apps	9
Power Automate.....	12
Microsoft Copilot Studio.....	18
Power Pages.....	20
AI Builder.....	24
Dataverse.....	26
関連情報.....	29
マルチプレキシング (多重化).....	29
外部ユーザーのライセンス要件.....	29
トライアルと実装.....	29
開発とテスト	29
価格	29
Power Platform サービスのサポート.....	30
付録 A: 用語とカスタム テーブル.....	31
付録 B: Power Platform の機能を含む Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows のライセンス.....	33
付録 C: 変更履歴.....	34

このガイドの使用について

このガイドは、Microsoft Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages、Power Platform アドオンのライセンスについて理解を深めることを目的としています。

このガイドはライセンス要件について理解を深めることを目的としており、以下の章で構成されています。

- 1) 購入方法
- 2) 製品ライセンス
- 3) 関連情報
- 4) 注意点、変更点

特定の組織にとって適切なテクノロジー ソリューションや、個々の製品やシナリオにおけるライセンス要件を確認するには、Microsoft アカウント チームまたは [Microsoft 認定パートナー](#) にご相談ください。このガイドは、使用権について規定するいかなる法的ドキュメントにも優先するものではなく、また、これらに置き換わるものでもありません。

Microsoft 製品の購入、Microsoft ライセンス プログラムの詳細については、[Microsoft ライセンス プログラム ガイド \(英語\)](#) にアクセスしてください。または、Microsoft セールス (855) 270-0615 (米国) までお問い合わせいただくか、各国や地域の [Microsoft ポリユーム ライセンス サイト](#) にアクセスしてください。

更新内容

2024 年 8 月版における変更点については、[付録 C](#) の変更履歴を参照してください。

Microsoft は予告なくいつでもこのガイドの見直しや更新を行う権利を留保しています。

ユーザーは必ず最新版のライセンス ガイドを利用して、最新の情報を入手するようにしてください。このガイドの最新バージョンは [こちら](#) を参照してください。

購入方法

マイクロソフト ライセンス プログラム

Power Platform サブスクリプション ライセンス

Power Platform サブスクリプション ライセンスは以下のチャネルを通じて購入できます。

- [Enterprise Agreement \(EA\)](#)
- [Enterprise Agreement Subscription \(EAS\)](#)
- [サーバーおよびクラウド加入契約 \(SCE\)](#)
- [マイクロソフト製品/サービス契約 \(MPSA\)](#)
- [Enterprise Agreement for Government](#)
- [Enrollment for Education Solutions \(EES\)](#)
- [マイクロソフト パートナー](#)
- [マイクロソフトから直接](#)
 - [Power Apps](#)
 - [Power Automate](#)
 - [Copilot Studio](#)
 - [Power Pages](#)

製品ライセンス

Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages は、ライセンスを取得したユーザーにアプリ、ボット、カスタムの Web サイトを作成および実行する能力を提供します。Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages で直接的か間接的にかかわらず、データの入力、照会、閲覧、その他のアクセスを行うすべてのユーザーまたはデバイスは、適切なライセンスを取得する必要があります。Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages の使用権は、Power Platform サブスクリプション ライセンス、Power Platform サブスクリプション アドオン ライセンス、および Power Platform 従量課金メーターを通じて購入できます。

Power Platform サブスクリプション ライセンス*

- Power Apps
 - Power Apps Premium
 - Power Apps per app
- Power Automate
 - Power Automate Premium
 - Power Automate Process
 - Power Automate Hosted Process
 - Power Automate per user
- Power Automate per flow
- Copilot Studio
 - Copilot Studio
- Power Pages
 - Power Pages 認証済みユーザー
 - Power Pages 匿名ユーザー

Power Platform サブスクリプション アドオン ライセンス

- Power Automate Process Mining アドオン
- Power Automate 無人 RPA アドオン
- AI Builder キャパシティ アドオン
- Dataverse データベース キャパシティ アドオン
- Dataverse ファイル キャパシティ アドオン
- Dataverse ログ キャパシティ アドオン
- Power Platform 要求アドオン

* Power Platform 製品のライセンスは、ユーザー サブスクリプション ライセンス (ユーザー SL)、ボット単位のライセンス、テナント単位のライセンス、テナント単位のキャパシティ アドオンで取得します。これらライセンスの種類は製品によって異なります。

Power Platform 従量課金メーター

- Power Apps per app メーター
- Power Pages 認証済みユーザー メーター
- Power Pages 匿名ユーザー メーター
- Dataverse データベース キャパシティ メーター
- Dataverse ファイル キャパシティ メーター
- Dataverse ログ キャパシティ メーター

Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows の一部のライセンスには、Power Platform の限定的な使用権が含まれており、ライセンスを取得したユーザーが Microsoft 365 のデータに基づいてアプリケーションやフローを作成することができます。これらの生産性アプリは、標準コネクタを使用して Box.com や Facebook などの多くの一般的なサービスに接続することで、Microsoft 365 の外部のデータを利用することもできます。詳細については、Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages の使用権をまとめた表を参照してください。

Power Platform

推奨オファー

 <p>Power Apps Application Development</p> <hr/> <p>Premium \$20 per user/month</p>	 <p>Power Automate Workflow Automation</p> <hr/> <p>Premium \$15 per user/month</p> <p>Process \$150 per bot/month</p>	 <p>Copilot Studio Build Copilots</p> <hr/> <p>Per tenant capacity \$200 for 25,000 messages per tenant/month</p>	 <p>Power Pages Web App Development</p> <hr/> <p>Capacity packs Tier 3 (100k+ users): \$50 for 100 Authenticated users/month or \$25 for 500 Anonymous users/month</p>
--	--	---	---

Power BI および Fabric のライセンスに関する情報は、[Power BI サービスのユーザー単位およびキャパシティベースのライセンスを参照してください](#)。

Power Apps

Power Apps Premium

Power Apps Premium は、実行するアプリの数に関係なく、ユーザーに 1 ライセンスを付与したいと考える企業に最適です。このライセンスを取得したユーザーは、無制限の数のカスタム アプリを作成および実行でき、かつ無制限の数の Power Pages Web サイトを作成および利用できます。

Power Apps の概要

		Power Apps サブスクリプション	以下に含まれる Power Apps の使用権	Power Apps Basic
		推奨モーション Power Apps Premium 20 ドル/ユーザー/月 (新規ライセンスを 2,000 以上購入する場合は 12 ドル/ユーザー/月)	一部の Dynamics 365 Professional/Enterprise ライセンス ¹	一部の Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる使用権
プラン	機能			
Power Apps	カスタム アプリの実行	無制限のアプリ	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内	無制限
	カスタム アプリ内でのワークフローの実行 ²	アプリのコンテキスト内	アプリのコンテキスト内	●
	カスタム Web サイトの実行	無制限の Web サイト		
AI Builder	サービス クレジット ³	500 クレジット		
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●	
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●	Dataverse for Teams のみ
	カスタム テーブルの作成とアクセス ^{4,5}	●	Professional の場合、アプリにつき 15 個まで	
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	250 MB ⁶		
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	2 GB ⁶		
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス	● ⁷	アプリのコンテキスト内	

¹ Dynamics 365 Professional には Power Apps と Power Pages の使用権は含まれません。

² Power Apps に含まれる Power Automate の使用権には RPA 機能は含まれません。RPA 機能を使用するには、別途 Power Automate Premium を購入する必要があります。

- ³ 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder サービス クレジットを追加するには、AI Builder キャパシティ アドオンを使用してください。
- ⁴ 制限付きテーブルでの Power Apps の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、[Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください](#)。
- ⁵ Power Apps ユーザーの Dynamics 365 Field Service の使用権の例外については、[Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)を参照してください。
- ⁶ Dataverse のデータベースと Dataverse のファイルのキャパシティの権利はテナント レベルで累積します。追加の Dataverse のデータベース、ファイル、ログのサブスクリプション キャパシティは、Dataverse キャパシティ アドオンを使用して 1 GB 単位で購入できます。
- ⁷ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境を参照してください](#)。

[Power Apps の詳細情報についてはこちらをクリック](#)。

Power Automate

Power Automate Premium

ユーザー単位の Power Automate Premium では、ライセンスを持つユーザーが、モダン アプリケーションの場合は API ベースのデジタル プロセス オートメーション (クラウド フロー)、レガシ アプリケーションの場合は UI ベースのロボティック プロセス オートメーション (デスクトップ フロー) を使用して有人モードで自動化することができます。

Power Automate Process

Power Automate Process では、1 つの「自動化ボット」または重要なビジネス プロセスにライセンスを付与して、無人モードでのロボティック プロセス オートメーションによるプロセスの自動化、または UI ベースのデジタル プロセス オートメーションによる自動化に使用できます。

Power Automate の概要

		Power Automate サブスクリプション		以下に含まれる Power Automate の使用権				Power Automate Basic
		推奨モーション Power Automate Premium 15 ドル/ユーザー/月 ¹	推奨モーション Power Automate Process 150 ドル/ボット/月 ²	Copilot Studio	Power Apps	一部の Dynamics 365 Professional/Enterprise ライセンス	Windows	一部の Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる使用権
プラン	機能							
Power Automate ³	クラウド フロー (DPA): 自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー	●	●	● ⁴	● ⁴	● ⁴		●
	ビジネス プロセス フロー	●	●		● ⁴	● ⁴		
	有人デスクトップ フロー (ロボティック)	●					● ⁵	
	無人デスクトップ フロー (RPA)		●					
Process Mining	タスク マイニング	●						
	クラウド フロー プロセス マイニングの統合	●						
	プロセスの視覚化と分析	● ⁶⁻⁷						
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	● ⁴	● ⁴	● ⁴		●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	● ⁸	● ⁸	● ⁴	● ⁴	● ⁴		
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●	● ⁴	● ⁴	● ⁴		
AI Builder	サービス クレジット ⁹	5,000	5,000					
Dataverse	Dataverse の使用権	●	●	● ⁴	● ⁴	● ⁴		Teams 内のみ
	データベース (累積)	250 MB ¹⁰	50 MB ¹⁰					
	ファイル (累積)	2 GB ¹⁰	200 MB ¹⁰					
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス	● ¹¹	● ¹¹	●	●	● ⁴		

- ¹ テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。
- ² 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。
- ³ 各フローの種類の定義については[技術ドキュメント](#)を確認してください。
- ⁴ アプリのコンテキスト内
- ⁵ [Power Automate Desktop](#) からのみ。Power Automate Desktop はビジネス クリティカルな用途を意図していない無料のアプリケーションであり、SLA やマイクロソフトのサポートは提供されません。クラウド フロー、標準/プレミアム コネクタ、オーケストレーション (デスクトップ フローのスケジュールされたトリガー/自動トリガー、無人/有人、1 つの自動化でのクラウド フローとデスクトップ フローの組み合わせ)、デスクトップ フローの共有、既定とは異なる環境での開発、Automation Lifecycle Management (ALM)、モニタリング、実行ログは含まれません。

⁶ Power Automate Premium ライセンスには Process Mining デスクトップ アプリが含まれており、高度な分析に加えて、オプションとして Power BI を別途購入することで Power BI のカスタマイズが可能です。Power Automate Premium ライセンスに付属する Process Advisor は、プロセス マイニング機能 (構築済みテンプレート) を標準で備えていますが、カスタマイズは非常に制限されています。

⁷ Process Mining のデータ ストレージはユーザー ライセンス 1 つにつき 50 MB で、累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 GB です。

⁸ デスクトップ フロー コネクタが含まれます (このデスクトップ フロー コネクタは、Windows ライセンスには付属しません)。

⁹ 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder サービス クレジットを追加するには、AI Builder キャパシティ アドオンを使用してください。

¹⁰ Dataverse のデータベースおよびファイルのサブスクリプション キャパシティはテナント レベルでプールされます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。

¹¹ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境](#)を参照してください。

Power Automate の詳細情報については[こちらをクリック](#)。

Microsoft Copilot Studio

Copilot Studio は、自然言語やグラフィカル インターフェイスを用いてコパイロットを作成・カスタマイズできる、エンドツーエンドの会話型 AI プラットフォームです。Copilot Studio を使用すると、業界、部署、役職に関係なく、組織内外のシナリオにおける特定のニーズに合ったコパイロットを簡単に作成、テスト、公開できます。

Copilot Studio の概要

	Copilot Studio サブスクリプション	Copilot for Microsoft 365 に含まれる Copilot Studio の使用权	以下に含まれる Copilot Studio の使用权
プラン	推奨モーション Copilot Studio 200 ドル/テナント/月	Copilot Studio in Copilot for Microsoft 365 Copilot for Microsoft 365 ライセンスに含まれる使用权 30 ドル/ユーザー/月	Copilot Studio for Teams (旧 PVA for Teams) 一部の M/O365 ライセンスに含まれる使用权
メッセージ数/テナント/月	25,000 メッセージ ¹	無制限	無制限 ² (Teams のみ)
生成 AI: AI による会話 (消費レートは 2 メッセージ)	● ^{3,4}	●	
独自のスタンドアロンのコパイロットの作成と公開	●		
Copilot for Microsoft 365 をカスタマイズするためのプラグインの作成と公開		●	
拡張された自然言語機能を使用した、コパイロットのトピックの作成と反復実行 ⁵	●		●
Microsoft Copilot Studio の作成のコンテキスト内での Power Automate for Copilot Studio クラウド フローの作成 (自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー)	●	●	
標準 Power Platform コネクタ	●	●	●
プレミアムおよびカスタム Power Platform コネクタ	●	●	
Power Platform コネクタでのオンプレミスとクラウドサービスのデータ転送	●	●	
Dataverse for Copilot Studio	● ⁶	● ⁶	Dataverse for Teams
マネージド環境	● ⁷		
作成するもの	独自のスタンドアロンのコパイロット	Copilot for Microsoft 365 のプラグイン	Teams チャットボット
コパイロット/プラグインを公開できるチャンネル	外部チャンネル (例: 外部 Web サイト、FB、WhatsApp など) 内部チャンネル (例: 内部 Web サイト、Teams など)	Copilot for Microsoft 365 のみ	Teams のチャンネル/チャットのみ

¹ Copilot Studio のメッセージは、Copilot Studio の機能全体での共通の通貨となります。請求対象メッセージは、コパイロットに送信されたアクションや応答のトリガーとなるリクエスト/メッセージです。たとえば、a) ユーザーがコパイロットに店の開店時間を質問し、コパイロットが営業時間を答える = 1 請求対象メッセージ、b) コパイロットが Web サイト上でユーザーに積極的にあいさつをする = 1 請求対象メッセージ、c) ユーザーがコパイロットに次の休日の店の営業時間を質問し、コパイロットが生成型応答で答える = 2 請求対象メッセージとなります。

² サービスの上限が適用されます。詳細はクォータ、制限、構成の値を参照してください。

³ メッセージの消費レートは、1) 通常 (非生成 AI) = 1 メッセージ、2) お客様のデータに基づく生成 AI (Gen AI) の応答 = 2 メッセージです。通常メッセージと生成 AI メッセージは組み合わせ可能です。

⁴ 生成型応答機能の詳細については、こちらのドキュメントを参照してください。

⁵ Copilot を利用した作成に関するドキュメントを参照してください。

⁶ Dataverse for Copilot Studio の既定のキャパシティは、Dataverse データベースが 5 GB、Dataverse ファイルが 20 GB、Dataverse ログが 2 GB です。

⁷ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境](#)を参照してください。

注: Copilot Studio でボットを作成するユーザー 1 人につき、1 つの Copilot Studio ユーザー ライセンス (無償) が必要です。Copilot Studio のオンボーディングを簡素化するために、1 つの取引内でテナント ライセンスとユーザー ライセンスを取得することをお勧めします。

[Copilot Studio の詳細情報についてはこちらをクリック。](#)

Power Pages

Power Pages 認証済みユーザー

認証済みユーザーは、ローコードの企業 Web サイトに、ユーザーが認証された状態で安全にアクセスできるようにしたいと考える企業が、必要なライセンス数を予測できる場合に最適です。

Power Pages 匿名ユーザー

匿名ユーザーは、ローコードの企業 Web サイトに、閲覧者が匿名でアクセスできるようにしたいと考える企業が、必要なライセンス数を予測できる場合に最適です。

Power Pages の概要

プラン	機能	Power Pages サブスクリプション		Power Pages の使用権が含まれる	
		推奨モーション Power Pages 認証済みユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上): 50 ドル/バック*	推奨モーション Power Pages 匿名ユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上): 25 ドル/バック*	Power Apps Premium	一部の D365 Enterprise ライセンス
Power Pages	Web サイトの作成、利用、ホスト、管理	●	●	●	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ 環境内
	安全なアクセスの認証	●			
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	●	●
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●	●	●
	カスタム テーブルと複雑なテーブルの作成と利用 ¹	●	●	●	●
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	2 GB ²	500 MB ²	250 MB ³	
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	16 GB ²	4 GB ²	2 GB ³	
	Dataverse のログ キャパシティ (累積)	1 GB	250 MB		
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス	● ⁴	● ⁴	●	アプリのコンテキスト内

¹ 制限付きテーブルでの Power Pages の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、[Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブル](#)を参照してください。

² キャパシティ バックあたり

³ ライセンスあたりのキャパシティ

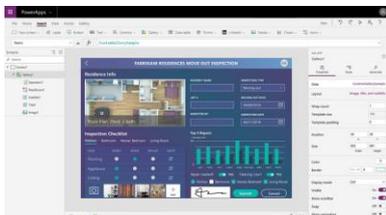
⁴ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境](#)を参照してください。

[Power Pages の詳細情報についてはこちらをクリック。](#)

Power Platform

その他のオプション

Power Apps



サービスの概要

Power Apps はローコード/ノーコードのアプリケーション プラットフォームであり、チーム、部門、または組織全体向けに無制限の数のアプリを構築、最新化、展開したり、既存の Dynamics 365 アプリや Microsoft/Office 365 アプリをカスタマイズしたりすることができます。詳細については、<https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/> を参照してください。

ライセンスの概要

Power Apps の汎用的なフル機能のライセンスは、ユーザー単位の Power Apps サブスクリプション、または従量課金制を通じて提供され、ライセンスを持つユーザーがビジネス アプリを作成、カスタマイズ、共有、実行することができます。このライセンスではフル機能が提供されます。

また、Dynamics 365 および Microsoft/Office 365 の一部のライセンスには、Power Apps の限定的な機能が含まれています。詳細については、このガイドの「Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権」「Power Apps Basic」のセクションを確認してください。

以下の表に、ライセンス体系の概要を示します。

	Power Apps Premium	Power Apps per app	Power Apps per app 従量課金
ライセンス方法	per user	ユーザー単位、アプリ単位	アクティブ ユーザー単位
説明	ユーザーが無制限の数のアプリを実行でき、かつ無制限の数の Power Pages Web サイトにアクセスできる	個々のユーザーが特定の環境内で、1つのアプリを実行するまたは1つの Power Pages Web サイトにアクセスできる	ユーザーが1つのアプリにアクセスできる

Power Apps Premium

Power Apps Premium は、実行するアプリの数に関係なく、ユーザーに1ライセンスを付与したいと考える企業に最適です。このライセンスを取得したユーザーは、無制限の数のカスタム アプリを実行でき、かつ無制限の数の Power Pages Web サイトにアクセスできます。

ユーザー単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Apps Premium
ライセンスの種類	ユーザー単位

Power Apps per app

Power Apps per app のライセンスでは、個々のユーザーが Power Apps のフル機能をベースに、特定の環境で1つのカスタム アプリを実行するまたは1つの Power Pages Web サイトにアクセスすることができます。

ユーザー単位/アプリ単位のオファーの概要	
SKU の名称	Power Apps per app
ライセンスの種類	ユーザー単位/アプリ単位のライセンス
ライセンスの併用は?	可能

Power Apps per app は、ユーザーに対して、アプリごとまたは Web サイトごとにライセンスを付与したい企業に最適で、柔軟にライセンスを積み増すことが可能です。アプリ単位でライセンスを取得するお客様は、一般的に、このプラットフォームを全社的に導入する前に、1〜2種類の主要なユース ケース シナリオから始めています。Power Apps per app は、少数のアプリしか実行しない、または少数の Web

サイトにしかアクセスしないエンド ユーザーにライセンスを付与する場合に魅力的なライセンス オプションです。

注:

- 1 人のユーザーに「アプリ単位」のライセンスを複数割り当てることも可能です。その場合、ユーザー単位のライセンスを取得する必要はなく、さまざまなビジネス シナリオを対象とした複数のソリューションを使用できます。
- Power Apps per app のライセンスを複数購入したら、アプリを共有可能にする前に、各ライセンスを特定の環境に割り振り、その後、個々のユーザーに割り当てる必要があります (2 つの環境に同じアプリまたは Web サイトが存在する場合、両方の環境にアクセスするには、ユーザーが 2 つの per app ユーザー SL を取得している必要があります)。
- また、対象となる教育機関のお客様は、Power Apps per app を教職員および学生向け料金で購入できます。これらのライセンスはテナント レベルのキャパシティとして販売され、Active Directory のユーザーには割り当てられないため、お客様やパートナーが責任を持って、学生向け料金が学生のみ適用されていることを確認する必要があります。

Power Apps per app 従量課金メーター

Power Apps per app メーターでは、個々のユーザーが 1 つのカスタム アプリを実行できます。このオプションは、月に 1 回以上 1 つの Power Apps アプリにアクセスするユーザーの使用分だけを従量課金で支払いたい企業に最適です。

Power Apps per app 従量課金オファーの概要	
SKU の名称	Power Apps Per App Active User-1
メーターの名称	Power Apps per app メーター

Power Apps per app 従量課金メーターの定義: 月に 1 回以上、環境内の 1 つの従量課金対象アプリを開いたアクティブなユニークユーザーの数をカウントします。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の使用権

ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションと同じ環境内には Power Apps の限定的な使用権が含まれており、ユーザーが Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズ、拡張することができます。Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Apps の機能の使用は、ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリケーションと同一の環境における、そのコンテキスト内に制限されています。使用権は Dynamics 365 ライセンスの種類によって異なります。

Power Apps Basic

Power Apps Basic (一部の Microsoft 365 や Office 365 のライセンスに含まれる Power Apps の限定的な使用権) では、ユーザーが生産性シナリオのために Microsoft 365 や Office 365 をカスタマイズおよび拡張したり、Microsoft Teams 専用の包括的なローコード拡張プラットフォームを提供したりすることができます。Power Apps と Dataverse for Teams の使用権が含まれる Microsoft 365 および Office 365 のライセンスの全一覧は、「[付録 B](#)」を参照してください。

Power Apps の

概要

		Power Apps サブスクリプション	Power Apps サブスクリプション	Power Apps per app 従量課金	以下に含まれる Power Apps の使用権	Power Apps Basic
		推奨モーション Power Apps Premium 20 ドル/ユーザー/月 (新規 per user ライセンスを 2,000 以上購入する場合は 12 ドル/ユーザー/月)	Power Apps per app 5 ドル/ユーザー/月	Power Apps per app メーター ¹ 10 ドル/アクティブ ユーザー/アプリ/月	一部の Dynamics 365 Professional/Enterprise ライセンス ²	一部の Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる使用権
プラン	機能					
Power Apps	カスタム アプリの実行	無制限のアプリ	1 アプリまたは 1 Web サイト (特定の環境内)	1 アプリ	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内	無制限
	カスタム Web サイトの実行	無制限の Web サイト				
	カスタム アプリ内でのワークフローの実行 ³	● ⁴	● ⁴	● ⁴	● ⁴	●
AI Builder	サービス クレジット ⁵	500 クレジット	250 クレジット			
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	●	●	
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●	●	●	
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●	●	●	Dataverse for Teams のみ
	カスタム テーブルの作成と利用 ^{6,7}	●	●	●	Professional の場合、アプリにつき 15 個まで	
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	250 MB ⁸	50 MB ⁸			
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	2 GB ⁸	400 MB ⁸			
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス	● ⁹	● ⁹		● ⁴	

¹ Power Platform 従量課金を使用するように構成された環境には、環境につき Dataverse データベース キャパシティ 1 GB と Dataverse ファイル キャパシティ 1 GB の権利が一度だけ提供されます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。

² Dynamics 365 Professional には Power Apps と Power Pages の使用権は含まれません。

³ Power Apps に含まれる Power Automate の使用権には RPA 機能は含まれません。RPA 機能を使用するには、別途 Power Automate Premium を購入する必要があります。

⁴ アプリのコンテキスト内

⁵ 累積キャパシティの上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder サービス クレジットを追加するには、AI Builder キャパシティ アドオンを使用してください。

⁶ 制限付きテーブルでの Power Apps の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、[Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください](#)。

⁷ Power Apps ユーザーの Dynamics 365 Field Service の使用権の例外については、[Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)を参照してください。

⁸ Dataverse のデータベースと Dataverse のファイルのキャパシティの権利はテナント レベルで累積します。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは、Dataverse キャパシティ アドオンを通じて 1 GB 単位で購入できます。

⁹ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境](#)を参照してください。

Power Automate



サービスの概要

Power Automate を使用すると、企業はワークフローやビジネス プロセスを自動化し、業務効率を向上できます。詳細については、<https://powerautomate.microsoft.com/ja-jp/> を参照してください。

ライセンスの概要

Power Automate の汎用的な機能は、Power Automate サブスクリプション ライセンスを通じて提供されます。また、Power Apps、Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows のライセンスには、Power Automate の限定的な機能が含まれています。詳細については、このガイドの「Power Apps ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」「Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」「Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」「Windows ライセンスに含まれる Power Automate の使用権」の各セクションを確認してください。

以下の表に、ライセンス体系の概要を示します。

Power Automate	Premium	Process	Hosted Process	Process Mining (PM)	per user	per flow (最小ライセンス数 5)	無人 RPA アドオン
ライセンス方法	ユーザー/月 ¹	ポット/月 ²	ポット/月 ²	100 GB の PM データ キャパシティ/月 ³	ユーザー/月 ¹	フロー/月 ²	ポット/月 ²
説明	ライセンスを持つユーザーが、モダン アプリの場合は API ベースのデジタル プロセス オートメーション (クラウド フロー)、レガシ アプリの場合は UI ベースのロボティック プロセス オートメーション (デスクトップ フロー) を使用して、有人モードで自動化できます。	無人ロボティック プロセス オートメーションを実行する自律型ポット、または、個々のユーザーにライセンスを付与することなく組織全体でアクセス可能な重要なビジネス プロセス (請求書処理や従業員オンボーディングなど) に、ライセンスを付与します。	Power Automate Process のスーパーサブセット。Power Automate Process と同じ機能を提供しますが、マイクロソフトがホストするマシンのキャパシティが追加され、インフラストラクチャなしでロボティック プロセス オートメーションを有効にします。	キャパシティ ベースのライセンス。最適化のための重要な機会を見極め、既存のプロセスを改善することで、顧客の ROI をすばやく向上させることができます。Power Automate Premium へのアドオンです。	企業が個々のユーザーにライセンスを付与して無制限の数のクラウド フローを作成できるようにしたい場合に適しています。	企業が、予約したキャパシティでフローを実装し、組織全体で無制限の数のユーザーが利用できるようにしたい場合に適しています。	Power Automate Premium または Power Automate per flow へのアドオン。ローカル リモート デスクトップまたは仮想化環境でポットを自動実行できます。

¹ テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。

² 環境あたり月 1 ライセンスで、ポットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じポットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

³ テナントあたり月 100 GB の PM データ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。

Power Automate Premium

Power Automate Premium は、モダン アプリとレガシ アプリのいずれにも対応します。ライセンスを持つユーザーは、デジタル プロセス オートメーション (DPA) を利用したクラウド フローを無制限に作成および実行できるほか、有人モードのロボティック プロセス オートメーション (RPA) を利用したデスクトップ フローでレガシ アプリを自動化することができます。このライセンスには、Process Mining のすべてのデスクトップ機能と、Process Mining の限られた量のデータ キャパシティ (50 MB。テナントあたり 100 GB までプール可能) が含まれます。また、フォーム処理、物体検出、予測、テキスト分類、テキスト認識などのシナリオをサポートする AI Builder 機能も利用できるほか、ワークステーション上で有人 RPA ポットを実行する機能も提供されます。

なお、無人のシナリオで RPA ボットを実行するには、Power Automate Hosted Process ライセンスを追加する必要があります。

Power Automate Premium	
SKU の名称	Power Automate Premium
ライセンスの種類	ユーザー単位*
クラウドフロー ¹ (自動化/インスタント/スケジュール済み/ビジネス プロセスのフロー)	無制限
デスクトップ フロー (有人 RPA ボットを含む) ²	1 つのボット
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
付属の Process Mining データ ストレージ	50 MB/ユーザー ライセンス、最大 100 GB/テナント

¹サービスの上限内の無制限のフロー。各フローの種類の詳細については技術ドキュメントを確認してください。

² RPA ボットを実行するために複数のデスクトップ フローを作成/記録できます。ただし、ボットは一度に 1 つの個別のデスクトップ フロー (プロセス) しか実行できません。複数のプロセスはシリアル化して、順に実行する必要があります。

* テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。

注:

- このオファーには、デスクトップ フローの作成、ボットのオーケストレーションと管理が含まれます。
- 追加の AI Builder のキャパシティは 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。AI Builder サービス クレジットのキャパシティはテナント レベルでプールされます。

Power Automate Process

Power Automate Process ライセンスを使用すると、ユーザーから独立した無人ロボティック プロセス オートメーション (無人 RPA) に使用可能な単一の自律型ボットにライセンスを付与したり、個々のユーザーにライセンスを付与することなく組織全体でアクセス可能な重要なビジネス プロセスにライセンスを付与したりすることができます。Power Automate Process にも、フォーム処理、物体検出、予測、テキスト分類、テキスト認識といったシナリオをサポートする AI Builder のキャパシティへのアクセスが含まれます。

無人自動化用のボットのライセンスを取得する場合:

- 単一プロセスで複数のインスタンスを並行して実行するには、インスタンスごとに追加の無人ボットが必要です。
- 無人ボットは、ローカル、リモート デスクトップ、その他の仮想化環境で展開できます。このライセンスにはこれらのリソースのいずれも含まれません。Power Automate Hosted Process ライセンスには、Power Automate Process ライセンスのすべての価値と、マイクロソフトがホストおよび管理する仮想マシンが含まれます。

ビジネス プロセス (請求書処理や従業員オンボーディング) のライセンスを取得する場合:

- すべての最上位のフローは、個別にライセンスを取得する必要があります。別のフローによってトリガーされる「子フロー」には、追加のライセンスを取得する必要はありません。
- ライセンスの種類に関係なく、スケジュール済みのフローは 1 分おきにトリガーするように構成できます。コネクタでサポートされる範囲外においては、フロー実行の頻度に制限はありません。

Power Automate Process	
SKU の名称	Power Automate Process
ライセンスの種類	ボット単位*
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
最小初期購入要件	なし

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。

同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

Power Automate Hosted Process

ボット単位でライセンス供与される Power Automate Hosted Process は、Power Automate Process のスーパーサブセットであり、Power Automate Process と同じ機能に加えて、インフラストラクチャなしで無人自動化を実行するための仮想マシンが含まれています。Hosted Process ライセンス 1 つにつき、マイクロソフトがホストするマシン 1 つに対するキャパシティを提供します。

Power Automate Hosted Process	
SKU の名称	Power Automate Hosted Process
ライセンスの種類	ポット単位*
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
追加のライセンスが必要な場合あり	無人ポットでソフトウェアを自動化するには、追加のライセンスが必要となる場合があります。たとえば、M/O365 を組み込む無人 RPA シナリオでは、Microsoft 365 の無人ライセンスが必要です。詳細については、 製品条項 を確認してください。

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ポットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じポットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- 1 つの Hosted Process ライセンスには、マイクロソフトがホストするマシン 1 つと無人 RPA ポット 1 つのキャパシティが含まれます。そのマシン上で実行されるすべてのデスクトップ フロー (RPA) とビジネス プロセスの一部となっているクラウド フロー (DPA) もそのライセンスでカバーされます。
- 1 つの Hosted Process ライセンスを 1 つの Process ライセンスとして使用し、お客様が管理するマシン上で無人自動化を実行することも可能です。
- 追加の AI Builder のキャパシティは 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。AI Builder サービス クレジットのキャパシティはテナント レベルでプールされます。
- 無人ポットがアクセスするサービスやアプリケーションを利用するには、別途ライセンスの取得が必要です。たとえば、ポットが Windows や Office にアクセスしている場合、Power Automate Hosted Process ライセンスに加えて、Microsoft 365 無人ライセンスも購入する必要があります。

注: Hosted Process ライセンスは、マシンを使用するユーザーではなく、マシンに付与されます。有人 RPA を実行し、RPA 開発者が Power Automate ポータル上でデスクトップ フローを構築および管理するためには、Power Automate Premium ユーザー ライセンスが必要です。Power Automate Premium ユーザー ライセンスの Premium RPA 機能の詳細については、[Premium RPA の機能](#)をご覧ください。

Power Automate Process Mining

Process Mining はキャパシティ ベースのライセンスです。最適化のための重要な機会を見極め、既存のプロセスを改善することによって、顧客の ROI をすばやく向上させることができます。テナントあたりのユーザー数に制限はありません。

キャパシティの購入は、12 か月の契約期間におけるピーク時の使用量に合わせる必要があります。毎月または季節的に使用量が急増する場合、その高い「基準値」を考慮に入れて月あたりの必要量を見積もり、十分なキャパシティを購入する必要があります。

Process Mining アドオン	
SKU の名称	Power Automate Process Mining
ライセンスの種類	100 GB のデータ保存/月*
対象の基本ライセンス	Power Automate Premium
ライセンスあたりのキャパシティ	100 GB のデータ保存/月

* テナントあたり月 100 GB のデータ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。

Power Automate per user

Power Automate per user では、個々のユーザーが独自のニーズに基づいて、**無制限**の数のワークフローとビジネス プロセスを作成、実行できます。このユーザー単位のライセンスは、自動化という文化の全社的な導入をサポートすることを目的としています。組織全体で Power Automate per user ライセンスを取得すれば、管理者が組織内でライセンス認証/使用されているフローの数を追跡する負担を最小限に抑えることができます。

ユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Automate per user
ライセンスの種類	ユーザー単位*
フローの有効化	無制限

* テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。

Power Automate per flow

Power Automate per flow は最上位のフロー単位のライセンスであり、重要なビジネス プロセスとキャパシティを実装して、各チーム、各部門、または組織全体で利用することができます。そのため、ライセンスを取得したフローをトリガーするエンド ユーザーごとに個別にライセンスを取得する必要はありません。

フロー単位のオファ어의詳細	
SKU の名称	Power Automate per flow
ライセンスの種類	フロー単位*
最小初期購入要件	5 つ

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- すべての最上位のフローに個別にライセンスを付与する必要があります (スケジュール済みのフロー、自動化されたフロー、インスタント フロー、ビジネス プロセス フロー)。「子」フローのみとして使用されるフロー (別のフローによってトリガーされるフロー) には、追加のライセンスを取得する必要はありません。
- 最上位のフローのためのライセンスを増やしたい場合は、「Power Automate per flow」を追加購入してください。

注: ライセンスの種類に関係なく、スケジュール済みのフローは 1 分おきにトリガーするように構成できます。コネクタでサポートされる範囲外においては、フロー実行の頻度に制限はありません。

Power Automate 無人 RPA アドオン

Power Automate 無人 RPA アドオンは、ボットを自律的に、つまり、ユーザーから独立して実行できるようにして、デスクトップ ベースの自動化を拡張します。無人ボットは、ローカル、リモート デスクトップ、その他の仮想化環境で展開できます。基本ライセンスである Power Automate Premium または Power Automate per flow を保有している場合に、無人 RPA アドオンを購入できます。対象の基本ライセンス 1 つに対して複数の無人 RPA アドオン ライセンスを追加することが可能です。

Power Automate 無人 RPA アドオンは、ボットを実行するライセンスです。単一のプロセスで複数のインスタンスを同時実行するには、インスタンスごとに無人ボットを追加する必要があります。

Power Automate 無人 RPA アドオン	
SKU の名称	Power Automate 無人 RPA アドオン
ライセンスの種類	ボット単位*
対象の基本ライセンス	Power Automate Premium、Power Automate per flow
付属の AI Builder サービス クレジット	5,000/月
追加のライセンスが必要な場合あり	無人ボットでソフトウェアを自動化するには、追加のライセンスが必要となる場合があります。たとえば、M/O365 を組み込む無人 RPA シナリオでは、Microsoft 365 の無人ライセンスが必要です。詳細については、 製品条項 を確認してください。

* 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

- 1 つの無人 RPA アドオン ライセンスには 1 つの無人 RPA ボットの権利だけでなく、デスクトップ フローの作成、ボットのオーケストレーションと管理に紐付けられるすべての必要な機能が含まれます。
- VM で無人 RPA ボットを実行するには、必要条件を満たしたコンピューティング リソースを別途購入する必要があります。
- 追加の AI Builder のキャパシティは 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。AI Builder サービス クレジットのキャパシティはテナント レベルでプールされます。

Power Apps ライセンスに含まれる Power Automate の使用权

Power Apps Premium、Power Apps per app、Power Apps 従量課金のライセンスには、Power Automate の使用权が含まれており、Power Apps アプリケーションに関連付けられたワークフローを自動化するために使用できます。Power Apps 内での Power

Automate の使用は、Power Apps アプリケーションのコンテキスト内に制限されています。つまり、トリガーとアクションのどちらにおいても、Power Apps アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- Power Apps アプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- Power Apps アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

フローが分離されていて Power Apps アプリケーションとは関係がない場合は、Power Automate のフル ライセンスを購入する必要があります。

Power Apps アプリケーションのコンテキスト内の Power Automate の使用例

Power Apps のフル ライセンスを取得しているユーザーが、データ ソースとして SQL Server データベースを使用し、以下に該当するフローを含むアプリを実行する場合。

- SQL Server データベースの読み取りまたは書き込みを行う
- 組み込みの Power Apps トリガー/アクションを使用する (アプリへのプッシュ通知の送信など)

Power Apps アプリケーションのコンテキスト外の Power Automate の使用例

上記の例と同じユーザーが、Oracle データベースを更新するフローを使用したいと考えており、そのフローが以下に該当する場合。

- Power Apps アプリとは関係がない
- Power Apps アプリ (またはそのデータ ソース) とのやり取りが一切ない

この場合は、Power Automate のフル ライセンスが必要になります。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

Dynamics 365 ライセンスには Power Automate の使用権が含まれており、Dynamics 365 アプリケーションをカスタマイズおよび拡張するために使用できます。Dynamics 365 内での Power Automate の使用は、フローを埋め込む Dynamics 365 アプリケーションのコンテキスト内に制限されています。トリガーとアクションの両方について、Dynamics 365 アプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- Dynamics 365 アプリケーションの使用権に含まれる任意のデータ ソース
- Dynamics 365 アプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

埋め込んだフローが Dynamics 365 アプリケーションのコンテキスト外の場合は、Power Automate のフル ライセンスを購入する必要があります。

Power Automate Basic

Power Automate Basic (一部の Microsoft 365 や Office 365 のライセンスに含まれる Power Automate の使用権) では、ユーザーが生産性シナリオのために Microsoft 365 や Office 365 をカスタマイズおよび拡張したり、Microsoft Teams 専用の包括的なローコード拡張プラットフォームを提供したりすることができます。Power Automate と Dataverse for Teams の使用権が含まれる Microsoft 365/Office 365 ライセンスの完全な一覧については、「[付録 B](#)」を参照してください。

Windows ライセンスに含まれる Power Automate の使用権

一部の Windows ライセンスには Power Automate の限定的な使用権が含まれており、Power Automate Desktop の RPA 機能を利用した個人レベルのデスクトップ オートメーションの構築と実行が可能です。これにより、ワークフローを遅くする可能性のあるレガシ タスクを、デジタル ワーカーによってさらに自動化できるようになるため、Windows ユーザーは RPA によるローコードの自動化を利用して、冗長で時間のかかるタスクの自動化に着手できます。これらの使用権が含まれる Windows ライセンスの一覧については、「[付録 B](#)」を参照してください。

Windows での Power Automate の使用は、すべてのアプリケーションと Web サイト (すべての Web ブラウザー) で可能です。エンタープライズレベルの自動化と管理者の権限は、Windows では利用できません。

Power Automate の概要

Power Automate サブスクリプション

以下に含まれる
Power Automate の使用権

Power Automate
Basic

プラン	機能	推奨モーション Power Automate Premium 15ドル/ユーザー/月 ¹	推奨モーション Power Automate Process 150ドル/ボット/月 ²	Power Automate Hosted Process 215ドル/ボット/月 ²	Process Mining ³ 5,000ドル/100GBの データ保存/月 ⁴	per user 15ドル/ユーザー/月 ¹	per flow 100ドル/フロー/月 ² (最小購入ライセンス数 5)	無人 RPA アドオン ⁵ 150ドル/ボット/月 ²	Copilot Studio	Power Apps	一部の D365 ライセンス	Windows	一部の M/O365 ライセンス に含まれる使用権
Power Automate ⁶	クラウド フロー (DPA) 自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー	●	●	●		●	●	●	● ⁷	● ⁷	● ⁷		●
	ビジネス プロセス フロー	●	●	●		●	●	●		● ⁷	● ⁷		
	有人デスクトップ フロー	●										● ⁸	
	無人デスクトップ フロー (RPA)		●	●				●					
	マイクロソフトがホストするマシン			●									
Process Mining	タスク マイニング	●			●								
	クラウド フロー プロセス マイニングの統合	●			●								
	プロセスの視覚化と分析	● ^{9,10}			●								
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●		●	●		● ⁷	● ⁷	● ⁷		●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	● ¹¹	● ¹¹	●		●	● ¹¹		● ⁷	● ⁷	● ⁷		
	オンプレミスとクラウド サービスのデータ 転送	●	●	●		●	●		● ⁷	● ⁷	● ⁷		
AI Builder	サービス クレジット ¹²	5,000	5,000	5,000				5,000					
Dataverse	Dataverse の使用権	●	●	●		●	●		● ⁷	● ⁷	● ⁷		Teams 内のみ
	データベース キャパシティ (累積)	250 MB ¹³	50 MB ¹³	50 MB ¹³	2 GB ¹³	250 MB ¹³	50 MB ¹³						
	ファイル キャパシティ (累積)	2 GB ¹³	200 MB ¹³	200 ¹³	1 TB ¹³	2 GB ¹³	200 MB ¹³						
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス	● ¹⁴	● ¹⁴	● ¹⁴		● ¹⁴	● ¹⁴		●	●	● ⁷		

¹ テナントあたり月 1 ライセンスで、ユーザーまたはキャパシティがそのテナント内の任意の環境で使用できます。

² 環境あたり月 1 ライセンスで、ボットまたはプロセスを 1 つの環境で使用できます。同じボットまたはプロセスを異なる環境に展開する場合は、追加のライセンスが必要です。

³ Process Mining の前提となるライセンスは Power Automate Premium です。対象ライセンス 1 つに対して複数のアドオンを適用できます。

⁴ テナントあたり月 100 GB の PM データ保存、テナントあたりのキャパシティ ベース ライセンス。

⁵ 無人 RPA アドオンの前提となるライセンス: Power Automate Premium および Power Automate per flow。対象ライセンス 1 つに対して複数のアドオンを適用できます。

⁶ 各フローの種類の定義については技術ドキュメントを確認してください。

⁷ アプリのコンテキスト内。トリガーとアクションのどちらにおいても、埋め込みアプリ内のフローから、その埋め込みアプリの使用権内の任意のデータ ソースに接続できます。また、その埋め込みアプリにも直接接続できます。

⁸ Power Automate desktop からのみ。Power Automate Desktop はビジネス クリティカルな用途を意図していない無料のアプリケーションであり、SLA やマイクロソフトのサポートは提供されません。クラウド フロー、標準/プレミアム コネクタ、オーケストレーション (デスクトップ フローのスケジュールされたトリガー/自動トリガー、無人/有人、1 つの自動化でのクラウド フローとデスクトップ フローの組み合わせ)、デスクトップ フローの共有、既定とは異なる環境での開発、Automation Lifecycle Management (ALM)、モニタリング、実行ログは含まれません。

⁹ Power Automate Premium ライセンスには Process Mining デスクトップ アプリが含まれており、高度な分析に加えて、オプションとして Power BI を別途購入することで Power BI のカスタマイズが可能です。Power Automate Premium ライセンスに付属する Process Advisor は、プロセス マイニング機能 (構築済みテンプレート) を標準で備えています。カスタマイズは非常に制限されています。

¹⁰ Process Mining のデータ ストレージはユーザー ライセンス 1 つにつき 50 MB で、累積容量の上限はテナントあたり 100 GB です。

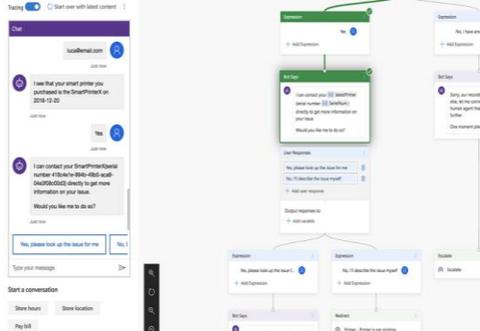
¹¹ デスクトップ フロー コネクタが含まれています (このデスクトップ フロー コネクタは、Windows ライセンスには含まれません)。

¹² 累積容量の上限はテナントあたり 100 万クレジットです。AI Builder の追加容量は、AI Builder キャパシティ アドオンを通じて 100 万件のサービス クレジットごとに 500 ドル/月で購入できます。

¹³ Dataverse のデータベースおよびファイルのサブスクリプション キャパシティは、テナント レベルでプールされます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。

¹⁴ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境](#)を参照してください。

Microsoft Copilot Studio



サービスの概要

Copilot Studio は、自然言語やグラフィカル インターフェイスを用いてコパイロットを作成・カスタマイズできる、エンドツーエンドの会話型 AI プラットフォームです。Copilot Studio を使用すると、業界、部署、役職に関係なく、組織内外のシナリオにおける特定のニーズに合ったコパイロットを簡単に作成、テスト、公開できます。詳細については、[https://www.microsoft.com/ja-jp/copilot/microsoft-](https://www.microsoft.com/ja-jp/copilot/microsoft-copilot-studio)

[copilot-studio](#) を参照してください。

ライセンスの概要

Copilot Studio の機能は、キャパシティ パックを通じてライセンスが付与されます (1 キャパシティ パック = 25,000 メッセージ/月)。キャパシティを増やすには、キャパシティ パックを追加してください。

Microsoft Copilot Studio のオファーの概要	
SKU の名称	Copilot Studio
ライセンスの種類	テナント ライセンス
1 キャパシティ パック	25,000 メッセージ/月

請求対象メッセージ

「請求対象メッセージ」の消費量 (Copilot Studio の機能全体での共通の通貨) に従って料金が発生します。請求対象メッセージは、コパイロットに送信されアクションや応答のトリガーとなるリクエスト/メッセージです。

メッセージの消費レート

- 通常 (非生成 AI) = 1 メッセージ
- お客様のデータに基づく生成 AI (Gen AI) の応答 = 2 メッセージ

例

- a) ユーザーがコパイロットに店の開店時間を質問し、コパイロットが営業時間を答える = 1 請求対象メッセージ
- b) コパイロットが Web サイト上でユーザーに積極的にあいさつをする = 1 請求対象メッセージ
- c) ユーザーがコパイロットに次の休日の店の営業時間を質問し、コパイロットが生成型応答で答える = 2 請求対象メッセージ

通常メッセージと生成 AI メッセージは組み合わせ可能です。

Copilot Studio でボットを作成するユーザー 1 人につき、1 つの Copilot Studio ユーザー ライセンス (無償) が必要です。Copilot Studio のオンボーディングを簡素化するために、1 つの取引内でテナント ライセンスとユーザー ライセンスを取得することをお勧めします。

Copilot Studio の概要

	Copilot Studio サブスクリプション	Copilot for Microsoft 365 に含まれる Copilot Studio の使用权	以下に含まれる Copilot Studio の使用权
プラン	推奨モーション Copilot Studio 200 ドル/テナント/月	Copilot Studio in Copilot for Microsoft 365 Copilot for Microsoft 365 ライセンスに含まれる使用权 30 ドル/ユーザー/月	Copilot Studio for Teams (旧 PVA for Teams) 一部の M/O365 ライセンスに含まれる使用权
メッセージ数/テナント/月	25,000 メッセージ ¹	無制限	無制限 ² (Teams のみ)
生成 AI: AI による会話	● ^{3,4}	●	
独自のスタンドアロンのコパイロットの作成と公開	●		
Copilot for Microsoft 365 をカスタマイズするためのプラグインの作成と公開		●	
拡張された自然言語機能を使用した、コパイロットのトピックの作成と反復実行 ⁵	●		●
Copilot Studio の作成のコンテキスト内での Power Automate for Copilot Studio クラウド フローの作成 (自動化/インスタント/スケジュール済みのフロー)	●	●	
<u>標準</u> Power Platform コネクタ	●	●	●
<u>プレミアムおよびカスタム</u> Power Platform コネクタ	●	●	
Power Platform コネクタでのオンプレミスとクラウド サービスのデータ転送	●	●	
Dataverse for Copilot Studio	● ⁶	● ⁶	Dataverse for Teams
マネージド環境	● ⁷		
作成するもの	独自のスタンドアロンのコパイロット	Copilot for Microsoft 365 のプラグイン	Teams チャットボット
コパイロット/プラグインを公開できるチャンネル	外部チャンネル (例: 外部 Web サイト、FB、WhatsApp など) 内部チャンネル (例: 内部 Web サイト、Teams など)	Copilot for Microsoft 365 のみ	Teams のチャンネル/チャットのみ

¹ Copilot Studio のメッセージは、Copilot Studio の機能全体での共通の通貨となります。請求対象メッセージは、コパイロットに送信されアクションや応答のトリガーとなるリクエスト/メッセージです。たとえば、a) ユーザーがコパイロットに店の開店時間を質問し、コパイロットが営業時間を答える = 1 請求対象メッセージ、b) コパイロットが Web サイト上でユーザーに積極的にあいさつをする = 1 請求対象メッセージ、c) ユーザーがコパイロットに次の休日の店の営業時間を質問し、コパイロットが生成型応答で答える = 2 請求対象メッセージとなります。

² サービスの上限が適用されます。詳細はクォータ、制限、構成の値を参照してください。

³ メッセージの消費レートは、1) 通常 (非生成 AI) = 1 メッセージ、2) お客様のデータに基づく生成 AI (Gen AI) の応答 = 2 メッセージです。通常メッセージと生成 AI メッセージは組み合わせ可能です。

⁴ 生成型応答機能の詳細については、[こちら](#)を参照してください。

⁵ Copilot を利用した作成に関するドキュメントを参照してください。

⁶ Dataverse for Copilot Studio の既定のキャパシティは、Dataverse データベースが 5 GB、Dataverse ファイルが 20 GB、Dataverse ログが 2 GB です。

⁷ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフル ライセンスが必要です。詳細については、[Power Platform のマネージド環境](#)を参照してください。

注: Copilot Studio でボットを作成するユーザー 1 人につき、1 つの Copilot Studio ユーザー ライセンス (無償) が必要です。Copilot Studio のオンボーディングを簡素化するために、1 つの取引内でテナント ライセンスとユーザー ライセンスを取得することをお勧めします。

キャパシティの適用

購入した Copilot Studio のキャパシティはすべて月単位で適用され、未使用のメッセージは翌月に繰り越されません。正当な理由があって時おり超過する分には構いませんが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準的なマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。お客様による Copilot Studio のキャパシティ管理をサポートするために、包括的な監視、レポート、アラート メカニズムが導入されます。使用量が購入したキャパシティを大幅に超える場合には、より厳格な技術的対応 (サービス拒否など) が行われます。

Copilot Studio in Copilot for Microsoft 365

ライセンスを取得した Copilot Studio in Copilot for Microsoft 365 ユーザーは、Copilot Studio でプラグインを作成および管理し、Copilot for Microsoft 365 に公開できます。また、Copilot Studio を利用すると、プラグインを使用している他の Microsoft Copilot エクスペリエンスも拡張することができます。

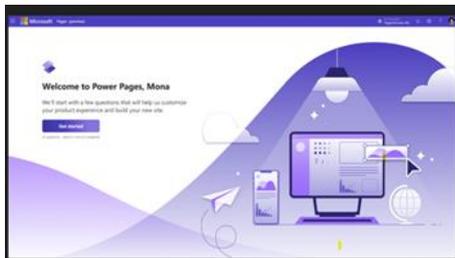
Microsoft 365/Office 365 ライセンスに含まれる Microsoft Copilot Studio for Teams の使用権

一部の Microsoft/Office 365 ライセンスでは、Microsoft Copilot Studio for Teams を使用して Teams 内で直接、Dataverse for Teams を使ったカスタム チャットボットを構築、展開することができます。Microsoft Copilot Studio for Teams の使用権が含まれる M/O365 ライセンスの全一覧は、「[付録 B](#)」を参照してください。

Dynamics 365 ライセンスに含まれる Microsoft Copilot Studio の使用権

一部の Dynamics 365 ライセンスには Microsoft Copilot Studio の限定的な使用権とセッション キャパシティが含まれており、Dynamics 365 アプリケーションを拡張するために使用できます。これらの権利に関する情報は [Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)を参照してください。

Power Pages



サービスの概要

Power Pages は、外部向けのモダンなビジネス Web サイトを作成、ホスト、管理できる安全なエンタープライズ クラスのプラットフォームを提供します。詳細については、<https://powerpages.microsoft.com/ja-jp/>を参照してください。

ライセンスの概要

Power Pages のライセンスは、認証済みユーザーと匿名ユーザーという 2 つのユーザー タイプに基づいて、Web サイト/月で提供されます。月単位で、Web サイトにアクセスするユニーク ユーザーの総数をカバーするのに十分なユーザー キャパシティを割り当てる必要があります。

- **認証済みユーザーの定義:** Power Pages の認証済みユーザーとは、Web サイトの認証プロバイダー経由でログインして、その Web サイトに安全にアクセスするユーザーのことです。
- **匿名ユーザーの定義:** Power Pages の匿名ユーザーとは、ログインせずに Web サイトにアクセスするユーザーのことです。

Power Pages

すべての Power Pages ライセンスに Power Pages のフル機能が含まれています。リッチかつインタラクティブなデータファーストのビジネス Web アプリをグローバルに作成し、ホストし、管理するための本格的な汎用 Power Pages Web サイトが必要な場合は、Power Pages キャパシティ パックの購入を検討してください。

Power Pages 認証済みユーザー サブスクリプション

認証済みユーザー サブスクリプション ライセンスは、Web サイトにアクセスする一意の認証済みユーザーの数に応じて購入します。このライセンスはキャパシティ パック (1 キャパシティ パックで 100 ユーザー分) として提供されます。価格は 3 段階で設定されています。最小購入要件を一度満たせば、追加のパックは 1 パック単位で購入できます。

Power Pages 認証済みユーザー キャパシティ パック

キャパシティ パックのレベル	キャパシティ パックの 最小購入数	総ユーザー数 (1 キャパシティ パック = 100 ユーザー)	価格
Tier 1	1 キャパシティ パック	100 ユーザー以上	200 ドル/パック
Tier 2	100 キャパシティ パック	10,000 ユーザー以上	75 ドル/パック
Tier 3	1,000 キャパシティ パック	100,000 ユーザー以上	50 ドル/パック

月あたり Power Pages の各 Web サイトにアクセスする認証済みユーザーの数を予測し、それを満たす数のキャパシティ パック ライセンスを購入する必要があります。未使用のキャパシティを翌月に持ち越すことはできません。注: 認証済みユーザーのキャパシティは環境に割り当てる必要があります。

認証済みユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Pages サイトあたりの認証済みユーザー
ライセンスの種類	認証済みユーザー/Web サイト単位

Power Pages 匿名ユーザー サブスクリプション

匿名ユーザーのサブスクリプション ライセンスは、匿名ユーザー (ログインせずに Web サイトにアクセスするユーザー) の数に応じて購入します。このライセンスはキャパシティ パック (1 キャパシティ パックで 500 ユーザー分) として提供されます。価格は 3 段階で設定されています。最小購入要件を一度満たせば、追加のパックは 1 パック単位で購入できます。

Power Pages 匿名ユーザー キャパシティ パック

キャパシティ パックのレベル	キャパシティ パックの 最小購入数	ユーザー数 (1 キャパシティ パック = 500 ユーザー)	価格
Tier 1	1 キャパシティ パック	500 ユーザー以上	75 ドル/パック
Tier 2	20 キャパシティ パック	10,000 ユーザー以上	37.50 ドル/パック
Tier 3	200 キャパシティ パック	100,000 ユーザー以上	25 ドル/パック

月あたり Power Pages の各 Web サイトにアクセスする匿名ユーザーの数を予測し、それを満たす数のキャパシティ パック ライセンスを購入する必要があります。未使用のキャパシティを翌月に持ち越すことはできません。注: 匿名ユーザーのキャパシティ パックをユーザーに個々に割り当てる必要はありません。キャパシティは環境に割り当てます。

匿名ユーザー単位のオファーの詳細	
SKU の名称	Power Pages サイトあたりの匿名ユーザー
ライセンスの種類	匿名ユーザー/Web サイト単位

Power Pages 従量課金メーター

Power Pages 従量課金メーターを利用すると、実際に Web サイトにアクセスした認証済みユーザーや匿名ユーザーの数に基づいて料金を後払いできます。

なお、従量課金の環境で Power Pages サブスクリプション ライセンスを使用することはできません。

Power Pages 認証済みユーザー メーター

認証済みユーザーの従量課金メーターを利用すると、1 か月間に Web サイトにアクセスした認証済みユーザーの実数に基づいて、従量制で料金を支払うことができます。

Power Pages 認証済みユーザーの従量課金メーターの定義: Web サイト/月あたりの一意の認証済みユーザーの数をカウントします。

Power Pages 匿名ユーザーメーター

匿名ユーザーの従量課金メーターを利用すると、1 か月間に Web サイトにアクセスした匿名ユーザーの実数に基づいて、従量制で料金を支払うことができます。

Power Pages 匿名ユーザーの従量課金メーターの定義: Web サイト/月あたりの一意の匿名ユーザーの数をカウントします。

Power Apps および Dynamics 365 ライセンスに含まれる Power Pages の使用権

Power Apps および Dynamics 365 Enterprise アプリに含まれる Power Pages の使用権は、Power Apps や Dynamics Enterprise アプリと同じ環境に制限されます。Dynamics 365 Enterprise アプリでは Power Pages の使用権が付与されますが、制限付きテーブルと、そのテーブルでデータの作成、更新、削除を行うユーザーに対する Dynamics 365 のライセンス要件はそのまま適用されます。制限付きテーブルの全一覧は、[Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブル](#)を参照してください。

ライセンス	Power Pages の使用権
Power Apps per app	1 つの Power App アプリの実行、または 1 つの Web サイトへのアクセス
Power Apps Premium	Power Apps と Power Pages の無制限の Web サイト
Dynamics 365 Team Members	なし
Dynamics 365 Operations – Activity	なし
Dynamics 365 アプリ ¹	なし
Dynamics 365 Enterprise Premium アプリ ²	<ul style="list-style-type: none">ライセンスを取得した Dynamics 365 アプリと同じ環境に対応付けられた Power Pages Web サイト無制限の数の Power Pages Web サイト
Microsoft 365/Office 365	なし

¹ Dynamics 365 Sales Professional、Dynamics 365 Customer Service Professional、Dynamics 365 Team Members、Dynamics 365 Operations – Activity、Dynamics 365 Human Resources Self Service、Dynamics 365 Business Central Team Members

² Dynamics 365 Sales Enterprise、Dynamics 365 Sales Premium、Dynamics 365 Customer Service Enterprise、Dynamics 365 Customer Service Premium、Dynamics 365 Field Service、Dynamics 365 Finance、Dynamics 365 Finance Premium、Dynamics 365 Supply Chain Management、Dynamics 365 Supply Chain Management Premium、Dynamics 365 Project Operations、Dynamics 365 Commerce、Dynamics 365 Human Resources、Dynamics 365 Business Central、Dynamics 365 Intelligent Order Management

Power Pages の概要

プラン	機能	Power Pages サブスクリプション		Power Pages 従量課金メーター		以下に含まれる Power Pages の使用権		
		推奨モーション Power Pages 認証済みユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上) 50 ドル/100 ユーザー/月	推奨モーション Power Pages 匿名ユーザー Tier 3 (10 万ユーザー以上) 25 ドル/500 ユーザー/月	Power Pages 認証済みユーザー メーター ¹ 4 ドル/ユーザー	Power Pages 匿名ユーザー メーター ¹ 0.30 ドル/ユーザー	Power Apps per app	Power Apps Premium	一部の D365 Enterprise ライセンス
Power Pages	Web サイトの作成、利用、 ホスト、管理	●	●	●	●	1 アプリまたは 1 Web サイト	●	ライセンスを取得した D365 アプリと同じ環境内
	安全なアクセスの認証	●		●	●			
Power Platform コネクタ	標準コネクタ	●	●	●	●	●	●	●
	プレミアム コネクタ、カスタム コネクタ	●	●	●	●	●	●	●
Dataverse	Dataverse へのフル アクセス	●	●			●	●	●
	カスタム テーブルと複雑な テーブルの作成と利用 ²	●	●			●	●	●
	Dataverse のデータベース キャパシティ (累積)	2 GB ³	500 MB ³			50 MB ⁴	250 MB ⁴	●
	Dataverse のファイル キャパシティ (累積)	16 GB ³	4 GB ³			400 MB ⁴	2 GB ⁴	
	Dataverse のログ キャパシティ (累積)	1 GB ³	250 MB ³					
マネージド環境	大規模な管理とガバナンス	● ⁵	● ⁵			●	●	アプリのコンテキスト内

¹ Power Platform 従量課金を使用するように構成された環境には、環境につき 1 GB の Dataverse データベース キャパシティと 1 GB の Dataverse ファイル キャパシティの権利が一度だけ提供されます。Dataverse のデータベース/ファイル/ログの追加サブスクリプション キャパシティは 1 GB 単位で購入できます。

² 制限付きテーブルでの Power Pages の使用権と、サポート案件テーブルに関する例外については、Dynamics 365 のライセンスを必要とする制限付きテーブルを参照してください。

³ キャパシティ バックあたり

⁴ ライセンスあたりのキャパシティ

⁵ 特定の環境でマネージド環境が有効化されている場合、その環境内での Power Apps、Power Automate、Power Pages、または Copilot Studio の使用には Power Apps、Power Automate、Power Pages、Copilot Studio、または Dynamics 365 のフルライセンスが必

AI Builder

サービスの概要

AI Builder は、人工知能 (AI) の技術的な使用経験を問わず、あらゆる人々を支援します。このソリューションを使用することで、企業はアプリとビジネス プロセスの両方に AI 機能を簡単に追加できます。AI Builder では、予測、名刺リーダーなど、さまざまなシナリオをサポートしています。AI Builder の詳細については、[AI Builder ライセンスのドキュメント](#)を参照してください。

ライセンスの概要

AI Builder のライセンスは、AI Builder キャパシティ アドオンを通じて、月あたりのキャパシティ ベースで提供されます。このキャパシティは、「サービス クレジット」の形で示されます。サービス クレジットは、AI Builder でサポートされるすべての機能において単一 (共通) の通貨となります。AI Builder アドオンの前提条件となるライセンスは、Power Apps Premium、Power Apps per app、Power Automate Premium、Power Automate Process、Power Automate Hosted Process、Power Automate unattended RPA アドオン、Dynamics 365 Finance、Dynamics 365 Finance Premium サブスクリプションのライセンスです。対象の前提条件となるライセンス 1 つに対して複数の AI Builder キャパシティ アドオンを適用できます。

AI Builder キャパシティ アドオンは、段階的な価格設定のキャパシティ パックによって提供されます。1 つのキャパシティ パックには、月あたり 100 万のサービス クレジットが含まれています。サービス クレジットはテナント全体でプールされ、AI Builder サービスを使用した場合に有効なサービス クレジットが差し引かれます (例: 使用量の予測に基づいて月に 470 万のサービス クレジットを必要とする場合は、キャパシティ パックを 5 つ購入することになります)。

フォーム処理や予測といった機能によって、サービス クレジットの消費レートは異なります (詳細は AI Builder レート カードを参照してください)。すべてのシナリオにおける使用量の予測に基づいて、適切な数の AI Builder キャパシティ パックを購入してください。

AI Builder キャパシティ パック (1 つのキャパシティ パックに月あたり 100 万サービス クレジットが含まれる)

キャパシティ パックのレベル	AI Builder アドオン SKU の名称	キャパシティ パックの最小購入数	キャパシティ パックの価格/月
Tier 1	AI Builder Capacity T1 アドオン	1 キャパシティ パック	500 ドル/キャパシティ パック
Tier 2	AI Builder Capacity T2 アドオン	10 キャパシティ パック	375 ドル/キャパシティ パック
Tier 3	AI Builder Capacity T3 アドオン	50 キャパシティ パック	250 ドル/キャパシティ パック

- 購入したサービス クレジットは、Power Automate、Power Apps、Dynamics 365 アプリケーションに含まれる AI Builder モデルから使用できます。
- サービス クレジットは、トレーニング環境と運用環境の両方で消費されます。

AI Builder レート カード

AI Builder の各機能は、異なるレートでサービス クレジットを消費します。AI Builder キャパシティ アドオンのキャパシティ パックは、AI Builder の各種機能の想定使用量に基づいて購入するようにします。管理者は[こちらからテナントのキャパシティ消費レポート \(Excel\)](#) をダウンロードできます。

機能	操作	種類	サービス クレジットの消費レート	1 操作あたりの相当額 ¹
AI プロンプト、GPT 3.5 でのテキスト作成	リアルタイム予測	事前構築済み	6 クレジット/1,000 トークン ²	0.003 ドル/1,000 トークン
ドキュメント処理	トレーニング	カスタム	無料	
	リアルタイム予測	カスタム	100 クレジット/ページ	0.05 ドル/ページ
領収書、請求書、身分証明書、名刺の分析	リアルタイム予測	事前構築済み	32 クレジット/ページ	0.016 ドル/ページ
テキスト翻訳	リアルタイム予測	事前構築済み	22 クレジット/1,000 文字	0.011 ドル/1,000 文字
テキスト分析 センチメント分析、言語検出、キー フレーズ抽出	リアルタイム予測	事前構築済み	20 クレジット/1,000 文字	0.001 ドル/ 1,000 文字
テキスト分析 カテゴリ分類、エンティティ抽出	トレーニング	カスタム	無料	
	リアルタイム予測	カスタム	20 クレジット/1,000 文字	0.01 ドル/1,000 文字
	リアルタイム予測	事前構築済み	20 クレジット/1,000 文字	0.01 ドル/1,000 文字
テキスト認識 (OCR)	リアルタイム予測	事前構築済み	3 クレジット/画像	0.0015 ドル/画像
画像分類	トレーニング	カスタム	無料 (オンプレミスで実施)	
	リアルタイム予測	カスタム	4 クレジット/画像	0.002 ドル/画像
物体検出	トレーニング	カスタム	標準: 10 クレジット/画像 ドメイン: 160 クレジット/画像 (最初の 500 点)、 10 クレジット/画像 (501 点以降)	標準: 0.005 ドル/画像 ドメイン: 0.08 ドル/画像 (最初の 500 点)、 0.005 ドル/画像 (501 点以降)
	リアルタイム予測	カスタム	8 クレジット/画像 (標準およびドメイン)	0.004 ドル/画像
予測	トレーニング	カスタム	無料	
	スケジュールされた予測	カスタム	1 クレジット/5 行	0.0005 ドル/5 行
	リアルタイム予測	カスタム	10 クレジット/1 行	0.005 ドル/1 行

¹ 免責事項: 価格は Tier 1 価格に基づいています。1 操作あたりの相当額は、定価に基づき参考としてのみ提示しています。

² これには入力トークン (ユーザー プロンプトとシステム プロンプト) と出力トークン (結果) が含まれます。一般的な英語テキストの場合、~ 700 単語で 1,000 トークンになります。<https://platform.openai.com/tokenizer> (英語) を参照してください。

キャパシティの適用

AI Builder キャパシティ アドオン SKU の場合、購入したキャパシティは 1 か月ごとに適用され、未使用のサービス クレジットを翌月に繰り越すことはできません。

超過使用分の処理

超過に正当な理由があり、時おり発生する場合には容認されますが、購入したキャパシティを超過する場合は、コンプライアンスを維持するために、標準のマイクロソフトの使用条件に従って購入数量を調整してください。クレジットの使用を超過した場合、超過している間は AI Builder モデルの編集と作成がブロックされます。フローおよびアプリで使用される AI Builder モデルについて、使用量が購入したキャパシティを大幅に超える場合は、より厳格な技術的対応 (サービス拒否など) が行われます。

お客様による AI Builder のキャパシティ管理をサポートするために、包括的な監視、レポート、アラート メカニズムが導入されます。

購入したキャパシティの割り当て

購入したキャパシティの適切な Power Automate、Power Apps アプリケーション、Dynamics 365 ワークロードへの割り当ては、製品内で管理されます。割り当てにより、重要な AI モデルのキャパシティを確保できます。割り当ての最小キャパシティは 1 サービス クレジットです。

Dataverse

Dataverse の既定および付加されるキャパシティの権利

Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages のそれぞれの既定のサブスクリプション キャパシティは、同じテナントおよびインフラストラクチャで使用し、1 つのテナント全体で計上されます。Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、または Power Pages のライセンスを購入したテナントには、既定のキャパシティが提供されます。さらに、Power Apps Premium、Power Apps per app、Power Automate Premium、Power Automate Process、Power Automate Process Mining、Power Pages では、ライセンス 1 つごとに追加のキャパシティがテナントに付加されます。Dataverse for Teams のキャパシティとサービスの上限については、[こちらのドキュメント](#)を参照してください。

Power Apps のテナントあたりのキャパシティ	Premium 既定	per app 既定	Premium 付加	per app 付加
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB	5 GB	250 MB	50 MB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB	20 GB	2 GB	400 MB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	2 GB		

Power Automate のテナントあたりのキャパシティ	Premium 既定	per user 既定	Process 既定	per flow 既定	Premium 付加	per user 付加	Process 付加	per flow 付加	Process Mining 付加
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB	10 GB	5 GB	5 GB	250 MB	250 MB	50 MB	50 MB	2 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB	20 GB	2 GB	2 GB	2 GB	2 GB	200 MB	200 MB	1 TB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	2 GB	200 MB	200 MB					

なお、Power Automate Process と Power Automate per flow では、必要な数のフローを購入できます。フローごとにキャパシティの上限が引き上げられます。

Copilot Studio のテナントあたりのキャパシティ	テナントあたりの既定
Dataverse のデータベース キャパシティ	5 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB

Power Pages のキャパシティ	(認証済み) テナントあたりの既定	(匿名) テナントあたりの既定	認証済みユーザー用 キャパシティ パック ごとに付加	匿名ユーザー用 キャパシティ パック ごとに付加
Dataverse のデータベース キャパシティ	5 GB	5 GB	2 GB	500 MB
Dataverse のファイル キャパシティ			16 GB	4 GB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	2 GB	1 GB	250 MB

Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages、Dynamics 365 Sales/Customer Service/Field Service アプリケーションは、同じテナントとインフラストラクチャを使用します。Dataverse のキャパシティ (Dataverse データベース、Dataverse ファイル、Dataverse ログ) はテナント全体で累積し、関連するアプリケーション ワークロード間で共有されます。

Power Platform 以外のマイクロソフト サブスクリプションにも、Dataverse のキャパシティの権利を付与するものがあります。Project for the web の詳細については[こちらのページ](#)を、その他の権利に関する情報は [Dynamics 365 ライセンス ガイド](#)を参照してください。

Dataverse は、Outlook や SharePoint と統合できます。

Dataverse のキャパシティの種類と目的

Dataverse	目的
データベース	テーブルの定義とデータを格納および管理します。
ファイル	Dynamics 365 Sales/Customer Service/Field Service アプリケーションおよび Power Apps のメモやメールの添付ファイルを保存します。これらの添付ファイルには、ドキュメント、画像ファイル、動画、PDF ファイルなど、組織で必要とされる重要なファイルが含まれます。
ログ	テーブルおよび列データの変化を経時的に記録して、分析やレポートの目的で使用できるようにします。ログ キャパシティを使用すると、組織は監査、コンプライアンス、ガバナンス ポリシーを満たすことができます。

Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages、Dynamics 365 Sales/Customer Service/Field Service のいずれかのサブスクリプションを初めて購入すると、そのテナントに既定のキャパシティの権利が 1 回のみ提供されます。たとえば、新規のお客様が Power Apps Premium を購入した場合、そのテナントには既定の 10 GB の Dataverse データベース キャパシティが提供されます。追加のサブスクリプションを購入しても、テナントの既定のキャパシティが増えるわけではありません。

テナントに追加のサブスクリプションを追加すると、Dataverse の追加のキャパシティがそのテナントに上乗せされます。例: 新規のお客様が Power Apps Premium ライセンスを 10 シート、Power Apps per app ライセンスを 20 シート購入したとします。この場合、テナント全体でプールされる合計キャパシティは以下のようになります (注: 1 GB = 1,024 MB)。

既定および付加分のキャパシティ割り当て	既定/テナント	Enterprise USL 10 シートあたりの付加	テナント全体の合計キャパシティ
Dataverse のデータベース キャパシティ	10 GB	10*250 MB + 20*50 MB = 3.5 GB	10 GB + 3.5 GB = 13.5 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	20 GB	10*2 GB + 20*400 MB = 28 GB	20 GB + 28 GB = 48 GB
Dataverse のログ キャパシティ	2 GB	なし	2 GB

Dataverse キャパシティ アドオン

Dataverse を利用するアプリ、フロー、ボット、または Web サイトが消費する Dataverse のデータベース、ファイル、ログのキャパシティの量はさまざまです。追加のキャパシティは、Dataverse キャパシティ アドオンを通じて購入できます。

テナントあたりのサブスクリプション キャパシティ	追加購入単位	最小数	価格
Dataverse データベース キャパシティ アドオン	1 GB	1	40 ドル/月
Dataverse データベース キャパシティ Tier 2 アドオン	1 GB	1,000	30 ドル/月
Dataverse ファイル キャパシティ アドオン	1 GB	1	2 ドル/月
Dataverse ログ キャパシティ アドオン	1 GB	1	10 ドル/月

注: Dataverse のキャパシティ アドオンは、Dataverse for Teams のシナリオには適用されません (例: Dataverse for Teams 環境が上限に達した場合、キャパシティを増やすには、Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages のフル ライセンスのいずれかにステップアップする必要があります)。

Power Platform 従量課金環境における Dataverse の既定のキャパシティ

Dataverse の既定のキャパシティ

Power Platform 従量課金を使用するように構成された環境には、環境につき Dataverse データベース キャパシティ 1 GB と Dataverse ファイル キャパシティ 1 GB の権利が一度だけ提供されます。これらの権利は、環境内でアプリまたはカスタム Web サイトを使用するユーザー数によって変化することはありません。これらの従量課金環境は、テナント全体の Dataverse キャパシティを消費しません。詳細については、[こちら](#)を参照してください。

従量課金環境	従量課金環境あたりに含まれるキャパシティ
Dataverse のデータベース キャパシティ	1 GB
Dataverse のファイル キャパシティ	1 GB
Dataverse のログ キャパシティ	なし

Dataverse のキャパシティ メーター

従量課金を有効化した環境では、サブスクリプションのキャパシティ アドオンで超過分をカバーする従来の方法に代わり、Dataverse のキャパシティ メーターを使用して、Dataverse の使用量を従量課金で支払うことができます。Dataverse の従量課金のキャパシティは、各環境に割り当てられた Dataverse データベース キャパシティ 1 GB と Dataverse ファイル キャパシティ 1 GB の権利を超過してその環境で使用されたキャパシティの量に基づいて請求されます。Dataverse のログ キャパシティは割り当てられません(端数の使用量は、現地通貨で小数点以下第 2 位まで計算されます)。

メーターの定義: 割り当てられた量 (1 環境あたりデータベース 1 GB、ファイル ストレージ 1 GB) を超過して環境内で使用されたキャパシティを指します。

Dataverse キャパシティ/環境	追加購入単位	価格
Dataverse のデータベース キャパシティ	1 GB	48 ドル/月
Dataverse のファイル キャパシティ	1 GB	2.40 ドル/月
Dataverse のログ キャパシティ	1 GB	12 ドル/月

関連情報

マルチプレキシング (多重化)

マイクロソフトのマルチプレキシング ルールは、ソフトウェアまたはサービスへのアクセスに必要なライセンス数よりも購入数を少なくする方法が模索されることに対処するものです。「マルチプレキシング」とは、ハードウェアまたはソフトウェアを使用することによって、接続をプールしたり、情報に迂回的または間接的にアクセスしたり、製品に直接アクセスするデバイスや製品を直接使用するユーザーの数を減らしたりすることを指します。マルチプレキシングで最も一般的なのは、多数のユーザーが 1 つの接続ポイントからアプリにアクセスする「接続プーリング」と呼ばれる形態です。世の中のテクノロジーが進歩するにつれて、データ移行用の自動プロセスやアプリへの間接アクセスなど、他にもさまざまな形態が生まれています。

Power Platform サービスへのアクセスに必要な各種サブスクリプション ライセンスの数は、マルチプレキシングによって減ることはありません。Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages のアプリで直接的か間接的にかかわらず、データの入力、照会、閲覧、その他のアクセスを行うすべてのユーザーまたはデバイスは、適切なライセンスを取得する必要があります。Power Platform アプリと、最終的に Power Platform を間接的に使用するユーザーやデバイスとの間に存在するハードウェアやソフトウェアの階層数は、必要となるユーザー SL の数に影響しません。マルチプレキシングの詳細については、[マイクロソフトのマルチプレキシングの概要](#)を参照してください。

外部ユーザーのライセンス要件

外部ユーザー* には、Power Platform のサービスやデータにアクセスできるように適切にライセンスが割り当てられる必要があります。適用可能なライセンスには以下が含まれます。

- 適切な Power Platform ユーザー SL
- Power Pages の認証済みまたは匿名のユーザー/Web サイトのキャパシティ ライセンス
- Power Automate per flow または Power Automate Process のライセンス経由でのアクセス
- Dynamics 365、Office 365、または Windows のライセンスに含まれる一部の機能

ユーザーは、アクセスを直接行うか間接的に行うかにかかわらず、マルチプレキシングのガイドラインに沿って適切にライセンスが付与される必要があります。外部ゲスト ユーザーのアクセスの詳細については、[こちら](#)を参照してください。

* 外部ユーザーは、自社またはその関連会社の従業員、オンサイトの契約社員、オンサイトのエージェントのいずれにも該当しないユーザーを指します。

トライアルと実装

無料トライアルには以下からサインアップできます。

- Power Apps [はこちら](#)
- Power Pages [はこちら](#)
- Power Automate [はこちら](#)
- Copilot Studio [はこちら](#)
- AI Builder [はこちら](#)

開発とテスト

無料の Developer Plan は個人使用を想定したもので、開発者は Power Apps、Power Automate、Dataverse を学習し、スキルを習得することができます。詳細については、[こちら](#)を参照してください。

価格

Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages の価格表については、以下を参照してください。

- Power Apps: <https://powerapps.microsoft.com/ja-jp/pricing/>
- Power Automate: <https://powerautomate.microsoft.com/ja-jp/pricing/>
- Copilot Studio: <https://www.microsoft.com/ja-jp/copilot/microsoft-copilot-studio>
- Power Pages: <https://powerpages.microsoft.com/ja-jp/pricing/>

Power Platform サービスのサポート

サポート プラン

MOSP、EA、MPSA、EAS、EES を通じて Power Platform ソリューションのライセンスを取得した場合は、[サブスクリプション サポート プラン \(英語\)](#) に記載されている特典を受けることができます。Power Apps、Power Automate、Copilot Studio、Power Pages、Dynamics 365 のサポートに関する詳細は、[こちら](#)を確認してください。

- [Dynamics 365 および Power Platform 向けの Professional Direct サポート \(英語\)](#)
- [統合サポート \(エンタープライズ ソリューション向け\)](#)

SKU の名称	説明	価格/月	ライセンスの単位
Dynamics 365 および Power Platform 向け Professional Direct サポート	Dynamics 365 および Power Platform 向けのユーザー単位の Professional Direct サポート サブスクリプション	9 ドル	ユーザー*

* お客様は、契約に基づいて Power Platform と Dynamics 365 の各ライセンスに対応するのに十分な Professional Direct サポート ライセンスを取得する必要があります。上限は 250 ライセンスです。

付録 A: 用語とカスタム テーブル

管理: 管理は、組織内における Power Apps の使用に関する境界やポリシーを確立するうえで重要です。

- 環境の管理 - データ、アプリ、フローを保存、管理、共有する場所
- データ ポリシー - データの共有方法を定義するポリシーを作成、適用

アプリ (Power Apps per app の定義): 「アプリ」とは、特定のビジネス シナリオを解決する Power Platform 資産の組み合わせを指します。

- 各「per app」ライセンスにより、1 つのカスタム アプリ (キャンバスまたはモデル駆動) の実行、または 1 つのカスタム Web サイトへのアクセスのための使用権が提供されます。
- 他のコンポーネント (フォーム、ダッシュボードなど) には上限はありません。

アプリケーション プログラム インターフェイス (API): マイクロソフトのサービスおよび関連ツールへのアクセスを提供する任意の形式のアプリケーション プログラミング インターフェイスです。たとえば、マイクロソフトのサービスを操作できるサンプルコード、マイクロソフトがこれらの使用条件の下で提供するドキュメントなどがあり、当該 API のすべての要素、コンポーネント、実行可能ファイルが含まれます。

アプリケーションの種類:

- **キャンバス アプリ:** 従来のプログラミング言語でコードを記述することなく、Microsoft Power Apps のキャンバスからビジネス アプリケーションをデザインおよび構築できます。キャンバスに要素をドラッグ アンド ドロップすることでアプリケーションをデザインでき、アプリのレイアウトを完全に制御できます。
- **モデル駆動アプリ:** データ モデルやビジネス プロセスを基盤としてアプリを開発する、コンポーネント中心のアプローチでデザインを行います。デザイナーがアプリケーションのレイアウトを完全に制御できるキャンバス アプリの開発とは異なり、モデル駆動アプリの場合は、主にアプリケーションに追加するコンポーネントによって、レイアウトの大部分が自動的に決まります。

コネクタ: ユーザーがビジネス データに接続する手段です。一連の既成のアクションやトリガーを活用して、アプリケーションやワークフローを構築できます。接続の例: Dataverse (旧称 Common Data Service)、SharePoint、SQL、OneDrive、Excel、Dynamics 365。

- **標準コネクタ:** Microsoft 365 エコシステム内のデータ ソースに接続します。例: Excel、Outlook、SharePoint、LinkedIn。標準コネクタの一覧については、[こちら](#)を参照してください。
- **プレミアム コネクタ:** Microsoft 365 以外のビジネス システムに接続します。例: DocuSign、Zendesk、Jira Software。
- **カスタム コネクタ:** ニーズに即したシナリオをより多くサポートするために、ユーザーが独自のトリガーやアクションを備えたカスタム コネクタを作成することができます。これらのコネクタは関数ベースであり、基礎となるサービスの特定の関数の呼び出しに基づいてデータが返されます。例: 既成のコネクタで利用できないサービス。
- **オンプレミス コネクタ:** ゲートウェイを使用してオンプレミス データにアクセスします。例: Microsoft SQL Server。

CRUD: 作成 (Create)、読み取り (Read)、更新 (Update)、削除 (Delete) の各操作を指します。

Copilot: マイクロソフト クラウド全体で革新的なソリューションを提供する、大規模言語モデル (LLM) を搭載した AI アシスタントです。Copilot の目的は、生産性、創造性、データ アクセシビリティを高めると共に、エンタープライズレベルのデータ セキュリティとプライバシー機能を提供することです。複雑なタスクと使いやすいソリューションの間の隔たりを解消し、自然言語で対話できるインターフェイスを介してデータの操作、自動処理の作成、アプリケーションの構築を行えるようにし、さらにはコーディング作業も支援します。マイクロソフトのさまざまなプラットフォームや製品に統合されており、より効率的なデジタル ワークスペースを実現します。

Dataverse (旧称 Common Data Service): Dataverse では、ビジネス アプリケーションで使用されるデータを格納、管理できます。

Dataverse を基盤とする **Dataverse for Teams** は、Microsoft Teams 向けの組み込みのローコード データ プラットフォームです。リレーショナル データ ストレージ、豊富なデータ型、エンタープライズ クラスのガバナンス、ワンクリックのソリューション展開機能を提供します。

Dataverse はあらゆるアプリケーション (Teams だけでなく) で使用できるよう設計されており、監査、共有、列レベルおよび階層型のセキュリティなどの高度なセキュリティ機能が備わっています。Dataverse for Teams と Dataverse の詳細な機能比較については、[こちら](#)の公開ドキュメントを参照してください。

デスクトップ フロー: RPA 市場をターゲットとする Power Automate の機能で、レガシ アプリを GUI (API ではなく) を通じて自動化します。

- デスクトップ フローを通じて実行されるプロセスは、より幅広い API ベースの自動化シナリオや既存のスタンドアロン製品に含めることができます。

フロー (アプリのコンテキスト内のフローの定義): トリガーとアクションの両方について、フローを埋め込むアプリケーションに含まれるフローは以下に接続できます。

- フローを埋め込むアプリケーションの使用権に含まれるデータ ソース
- フローを埋め込むアプリケーション本体 (組み込みのトリガー/アクションを使用)

生成 AI: 人工知能の一種で、画像、テキスト、コード、合成データなどのコンテンツを生成するモデルを搭載し、それを活用するコンピューティング機能に焦点が当てられています。

生成 AI アプリケーションは、大規模言語モデル (LLM) と基盤モデルをベースに構築されています。

- **LLM** は、膨大なデータセットを取り込んで学習するディープ ラーニング モデルで、言語処理タスクを得意としています。学習データに基づいて自然言語を模倣したテキストを新たに組み合わせ、文章を作成します。
- **基盤モデル**は、細かい調整を前提として事前にトレーニングされた大規模 ML モデルで、微調整することで詳細な言語理解と生成処理を実現します。入力データ内のパターンを識別するために使用されます。

学習プロセスが完了すると、入力に応じてこれらのモデルが相互に機能し、統計的に確率の高い出力を生成するようになります。これを活用することで、以下のようなさまざまなタスクを遂行できます。

- 既存の画像に基づいた画像生成、または 1 つの画像のスタイルを活かした修正や新規生成
- 文字起こし、翻訳、QA 生成、テキストの意図や意味の解釈などの音声タスク

ロボティック プロセス オートメーション (RPA): アプリケーションのグラフィカル ユーザー インターフェイス (GUI) の使用を含むプロセス自動化の分野。ユーザーが自動化テクノロジーの一連のステップ、アクション、タスクを記録し、GUI で直接反復することによりプロセスを実行します。

RPA ロボットまたは「ボット」: デスクトップまたは仮想化環境で実行される GUI ベースのプロセスのことです。

- **有人 (Attended) ボット:** ワークステーション (ローカルやリモート デスクトップなど) で明示的なユーザー アクションによってトリガーされます。
 - 同じワークステーションでユーザーと同時に動作する必要があります。
 - 複数のプロセスを実行できますが、各プロセスをシリアル化して順に実行する必要があります。
- **無人 (Unattended) ボット:** ユーザーの操作なしに自律的に動作します。
 - ローカルやリモート デスクトップといった仮想化環境で展開できます。
 - 複数のプロセスを実行できますが、各プロセスをシリアル化して順に実行する必要があります。
 - 単一プロセスで複数のインスタンスを並行して実行するには、インスタンスごとに追加の無人ボットが必要で

テーブル: データを格納するために使用するレコードのセットです。テーブルを使用すると、ユーザーが、組織のビジネス アプリケーション内で使用するビジネス データをモデル化できます。テーブルの例: 取引先企業、取引先担当者、潜在顧客、営業案件。

- **標準テーブル:** Dataverse では、あらゆるビジネス アプリケーションで最も使用されるテーブルであるビジネス テーブルが標準で提供されます。**例:** 取引先企業、予定、取引先担当者、メール。
- **カスタム テーブル:** 特定のビジネス ニーズに対応するためにお客様/パートナーによって作成されるテーブルです。たとえば、マシンの種類は標準テーブルにはないため、カスタム テーブルとして作成できます。
- **制限付きテーブル:** フル アクセスするために Dynamics 365 ライセンスが必要となるテーブルです。**例:** サポート案件、SAL、サポート情報記事。制限付きテーブルの一覧については、[こちら](#)を参照してください。
- **複雑なテーブル:** サーバー側の複雑なビジネス ロジックを使用するテーブルです。お客様/パートナーがテーブル (標準またはカスタム) をカスタム ビジネス ロジックに関連付けると、そのテーブルは複雑なテーブルになります。**例:** リアルタイム ワークフローまたはコード プラグインを使用するテーブル。

ワークフロー:

- **バックグラウンド ワークフロー:** システムおよびサービス全体のタスクを自動化します。バックグラウンドで実行されます。
- **リアルタイム ワークフロー:** システムおよびサービス全体のタスクを自動化します。リアルタイムで実行されます。
- **ビジネス プロセス フロー:** 人間が操作できるステートフルな構造化ワークフローです。複数のステップから構成され、分岐/ステージ ゲーティングが可能です。プロセス KPI やレポートなどが含まれます。

付録 B: Power Platform の機能を含む Dynamics 365、Microsoft/Office 365、Windows のライセンス

Dynamics 365

対象ライセンス	対象ライセンスに含まれる限定的な使用権		
	Power Apps	Power Automate	Power Pages
Dynamics 365 Sales Premium	○	○	○
Dynamics 365 Sales Enterprise	○	○	○
Dynamics 365 Sales Professional		○	
Dynamics 365 Customer Service Premium	○	○	○
Dynamics 365 Customer Service Enterprise	○	○	○
Dynamics 365 Customer Service Professional		○	
Dynamics 365 Field Service	○	○	○
Dynamics 365 Project Operations	○	○	○
Dynamics 365 Team Members		○	
Dynamics 365 Finance	○	○	○
Dynamics 365 Finance Premium	○	○	○
Dynamics 365 Supply Chain Management	○	○	○
Dynamics 365 Supply Chain Management Premium	○	○	○
Dynamics 365 Commerce	○	○	○
Dynamics 365 Human Resources	○	○	○
Dynamics 365 Operations – Activity		○	
Dynamics 365 Business Central	○	○	○
Dynamics 365 Business Central Team Members		○	
Dynamics 365 Intelligent Order Management	○	○	○

Microsoft 365*、Office 365、Windows

対象ライセンス	対象ライセンスに含まれる限定的な使用権				
	Power Apps	Power Automate		Microsoft Copilot Studio for Teams	Dataverse for Teams
		クラウド フロー	デスクトップ フロー		
Office 365 E1	○	○		○	○
Office 365 E3	○	○		○	○
Office 365 E5	○	○		○	○
Office 365 F3	○	○		○	○
M365 Business Basic	○	○		○	○
M365 Business Standard	○	○		○	○
M365 Business Premium	○	○	○	○	○
Microsoft 365 F1					
Microsoft 365 F3	○	○	○	○	○
Microsoft 365 E3	○	○	○	○	○
Microsoft 365 E5	○	○	○	○	○
Windows 10 Pro			○		
Windows Enterprise E3			○		
Windows Enterprise E5			○		
Office 365 A1	○	○			
Office 365 A3 ¹	○	○		○	○
Office 365 A5 ¹	○	○		○	○
Microsoft 365 A1 ²	○	○			
Microsoft 365 A3 ¹	○	○	○	○	○
Microsoft 365 A5 ¹	○	○	○	○	○
Windows Education A3 ¹			○		
Windows Education A5 ¹			○		

¹ 学生使用特典にも含まれます。

² 付属の Office 365 A1 経由で含まれます。

* Microsoft 365 は、Microsoft 365 製品エントリのライセンス条項によって変更された、Microsoft 365 を構成する個別の製品およびサービスのライセンス条項に準拠します。Microsoft 365 および Office 365 スイートのライセンス チャネルと対象セグメントの詳細については、[製品条項](#)を参照してください。

付録 C: 変更履歴

ページ	項目	変更区分	対応	日付
28	Dataverse	明確化	Dataverse キャパシティ アドオンおよび Dataverse キャパシティ メーターの価格を追加	2024 年 8 月
28	Dataverse	新規	Dataverse キャパシティ Tier 2 アドオン	2024 年 7 月
全般	マネージド環境	更新	Dynamics 365 Professional および Dynamics 365 Team Members をマネージド環境の対象に追加	2024 年 7 月
25	AI Builder	更新	レートカードの「AI プロンプト、GPT 3.5 でのテキスト作成」を「0.008 ドル/1,000 トークン」から「0.003 ドル/1,000 トークン」に変更	2024 年 6 月
25	AI Builder	更新	レートカードの「物体検出」を「0.01 ドル/画像」から「0.005 ドル/画像」に変更	2024 年 6 月
8、23、27	Power Pages	更新	「Dataverse のログ キャパシティ (累積)」を追加	2024 年 6 月
12～14、17	Power Automate Hosted Process	新規	ホスト型 RPA アドオンに替わってフル ライセンスが登場	2024 年 5 月
全般	Microsoft/Office 365 に含まれる Power Apps/Power Automate の使用権	更新	Power Apps Basic および Power Automate Basic に名称を変更	2024 年 4 月
19 ～ 20	Copilot Studio	新規	Copilot Studio in Copilot for Microsoft 365	2024 年 2 月
7、18 ～ 20	Microsoft Copilot Studio	新規	旧称 Power Virtual Agents	2023 年 12 月
全般	Power Automate	明確化	テナント/環境あたりの権利	2023 年 10 月
7、14	Power Automate	新規	Power Automate Process	2023 年 8 月
7、13	Power Automate	ブランド変更	「有人 RPA を含む Power Automate per user」から「Power Automate Premium」に名称変更	2023 年 8 月
5、10	Power Apps	ブランド変更	「Power Apps per user」から「Power Apps Premium」に名称変更	2023 年 8 月
20、21	AI Builder	更新	階層別の価格設定	2023 年 5 月
28	AI Builder	更新	レートカードの更新	2023 年 2 月
全般	マネージド環境	更新	D365 の要件、アプリのコンテキスト内	2023 年 2 月
12、17	Power Automate	新規	ホスト型 RPA	2023 年 1 月
全般	Power Platform	新規	マネージド環境	2023 年 1 月
全般	Power Pages	新規	Power Pages	2022 年 11 月
24	AI Builder	更新	レートカードに画像分類を追加	2022 年 6 月
全般	Power Platform	明確化	微調整	2022 年 5 月
24	AI Builder	新規	機能および操作別のサービス クレジットの消費レートの表	2022 年 4 月
20	Power Virtual Agents for Teams	明確化	24 時間ごとのユーザーあたりのチャット セッション	2022 年 4 月
5	Power Apps	新規	Power Apps per app 従量課金プラン	2022 年 3 月
22、23	Dataverse	新規	Power Platform の従量課金プランと Dataverse キャパシティ	2022 年 3 月
10、17	Power Apps および Power Automate のキャパシティ アドオン	ブランド変更	「Power Platform Requests アドオン」にブランド変更	2022 年 2 月

© 2020 Microsoft Corporation. All rights reserved.

このドキュメントに記載された内容は情報の提供のみを目的としています。明示または黙示にかかわらず、この内容に関してマイクロソフトはいかなる責任も負わないものとします。この情報はライセンスを受けた製品を正しくご使用いただくためのガイドであり、お客様との契約ではありません。ライセンス契約に基づきライセンスを受けた製品の使用については、当該契約に定める契約条件に規定されます。この情報と契約の間に齟齬がある場合は、契約の条項が優先されます。マイクロソフトのリセラーを通じて取得するライセンスの価格は、代理店によって決定されます。